

(遊佐 鉄平)

「われわれは1955年に蛍光塗料・金属探傷剤の製造販売で創業し、印字・マーキング装置分野には82年に進出した。35年以上にわたる事業展開の中で鉄鋼、自動車、重工、プラントメーカーなどと取引を重ねてきた。

小野 友弘常務執行役員営業部長に聞く



印字機能の高度化進める

工程管理などの二次元コード
鉄鋼メーカーに提案

——足元の需要環境は。

「当社の標準的な印
・マーキング装置
PJ-11B』の機能
を高めている。印字速
度が毎分120字で文
の大きさ調節が可能
なほか、塗料も耐候性
優れるペイントを使

置方法などトータルでのサポートが可能。新規のお客様にもご利用いただけるように市場を深耕していきたい」

——どのような分野を開拓していくか。

「高炉、電炉、鋼管メーカーをはじめとす

用することで厳しい環境した経験をもとに、

『PJ-1B』への二

次元コード印字機能を追加した」

ド印字機能の営業活動
をスタートしている

「『PJ-1B』を
すでに保有しているお
客様は、コントローラ
の取り換えだけで機能
を付加できる。一方で

が、このほどデモ機を活用した実演営業の準備も整った。実物を確認したいという要望があれば、工場や事務所

未導入の工場・生産ラインでも、システムアップメーカとして生産ラインへの最適な配

に機械を持ち込んでご覧いただくこともできる。多くのお客様に提案していきたい」